

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	教育施設等への自立分散型太陽光発電・蓄電池設備設置工事（市役所本庁舎・千手小学校）事業	
補助事業者名	十日町市	
補助事業の概要	再生可能エネルギーのさらなる多角的な有効活用と指定避難所に指定されている小中学校等での非常用電源確保の両立を目的に、令和 3 年度採択事業で実施した実施設計で得られた成果を基に、十日町市役所本庁舎と十日町市立千手小学校の 2 施設へ、太陽光発電設備と蓄電池設備（自家消費用）工事を行った。	
総事業費	77, 108, 900円	
補助金充当額	77, 108, 900円	
定量的目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・常時の再生可能エネルギー由来電源の活用と、非常時の自立電源確保を目的とした太陽光発電と蓄電池設備を整備する。</li><li>・工事完了後に設備概要を市ホームページで市民へ周知するとともに、発電表示用モニターにより来場者等に向けて情報発信を行い、太陽光発電を通じた再生可能エネルギーの理解促進を図る。</li></ul>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<ul style="list-style-type: none"><li>・本事業による設備導入を行った結果、平時は太陽光発電及び蓄電池から供給される電力を施設内で利用し、非常時には避難所としての非常用電源の利用が可能となった。</li><li>・工事完了後に市ホームページで設備概要（モジュール出力、蓄電池容量、電力量削減効果等）を周知し、また行政拠点である市役所本庁舎と、児童や教職員・保護者の出入りが多数ある千手小学校に設置した発電表示用モニターを各施設の来場者が目にするすることで、市が目指す多角的な再生可能エネルギー活用への理解促進が図られた。</li></ul>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約（※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約の目的	教育施設等への自立分散型太陽光発電・蓄電池設備設置工事（市役所本庁舎・千手小学校）
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方	本庁舎：(株)後藤電機 千手小：信栄電機工業(株)

	契約金額	本庁舎：42,898,900円 千手小：34,210,000円 合計：77,108,900円
来年度以降の事業見通し	来年度の補助金充当の予定なし	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和5年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	教育施設等への自立分散型太陽光発電・蓄電池設備設置工事（水沢中学校）事業	
補助事業者名	十日町市	
補助事業の概要	再生可能エネルギーのさらなる多角的な有効活用と指定避難所に指定されている小中学校等での非常用電源確保の両立を目的に、令和2年度及び令和4年度採択事業で得られた成果をもとに、十日町市立水沢中学校へ、太陽光発電設備と蓄電池設備（自家消費用）工事を行った。	
総事業費	62,557,000円	
補助金充当額	62,557,000円	
定量的目標	・ 常時の再生可能エネルギー由来電源の活用と、非常時の自立電源確保を目的とした太陽光発電と蓄電池設備を整備する。 ・ 工事完了後に設備概要を市ホームページで市民へ周知するとともに、発電表示用モニターにより来校者等に向けて情報発信を行い、太陽光発電を通じた再生可能エネルギーの理解促進を図る。	
補助事業の成果及び評価 （事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	・ 本事業による設備導入を行った結果、平時は太陽光発電及び蓄電池から供給される電力を施設内で利用し、非常時には避難所としての非常用電源の利用が可能となった。 ・ 工事完了後に市ホームページで設備概要（モジュール出力、蓄電池容量、電力量削減効果等）を周知し、児童や教職員・保護者の出入りが多数ある水沢中学校に設置した発電表示用モニターを来校者が目にするすることで、市が目指す多角的な再生可能エネルギー活用への理解促進が図られた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約の目的	水沢中学校自立分散型太陽光発電・蓄電池設備設置工事
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方	大島電気株式会社
	契約金額	62,557,000円
来年度以降の事業見通し	来年度の補助金充当の予定なし	

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和5年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	教育施設等への自立分散型太陽光発電・蓄電池設備設置工事（まつのやま学園）事業	
補助事業者名	十日町市	
補助事業の概要	再生可能エネルギーのさらなる多角的な有効活用と指定避難所に指定されている小中学校等での非常用電源確保の両立を目的に、令和2年度及び令和4年度採択事業で得られた成果をもとに、十日町市立まつのやま学園へ、太陽光発電設備と蓄電池設備（自家消費用）工事を行った。	
総事業費	56,100,000円	
補助金充当額	56,100,000円	
定量的目標	・ 常時の再生可能エネルギー由来電源の活用と、非常時の自立電源確保を目的とした太陽光発電と蓄電池設備を整備する。 ・ 工事完了後に設備概要を市ホームページで市民へ周知するとともに、発電表示用モニターにより来校者等に向けて情報発信を行い、太陽光発電を通じた再生可能エネルギーの理解促進を図る。	
補助事業の成果及び評価 （事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	・ 本事業による設備導入を行った結果、平時は太陽光発電及び蓄電池から供給される電力を施設内で利用し、非常時には避難所としての非常用電源の利用が可能となった。 ・ 工事完了後に市ホームページで設備概要（モジュール出力、蓄電池容量、電力量削減効果等）を周知し、児童や教職員・保護者の出入りが多数あるまつのやま学園に設置した発電表示用モニターを来校者が目にする事で、市が目指す多角的な再生可能エネルギー活用への理解促進が図られた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約の目的	まつのやま学園自立分散型太陽光発電・蓄電池設備設置工事
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方	ダイワ電気工事株式会社
	契約金額	56,100,000円
来年度以降の事業見通し	来年度の補助金充当の予定なし	